

事業所職員向け 放課後等デイサービス・自己評価表（香里園教室）

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			リラックスできるスペースや個別対応が可能な部屋の確保をしております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			学校・幼稚園教員免許取得者、臨床心理士、社会福祉士、といった専門性の高い職員を配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			部屋間の仕切りの段差を作らない配慮をしております。
業務 改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			療育開始前には前回の振り返り及び課題の確認、終了後には当日の記録作成及び今後へ向けて話し合いを職員間で行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けの評価表を実施し、保護者の意向を尋ねております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年ホームページに公表しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			感染状況をみながら、毎月の事例検討会や、外部研修への参加を積極的に行っております。また、保護者様に許可をいただいた上で、学術大会での発表等も行いました。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からの聞き取りと子どもを実際に観察した様子を統合し、計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			他店舗と課題の統一を行い、信頼性を高めた課題を実施しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			感染予防対策を一番に考えて、出来る範囲で立案をしております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			感染予防対策をしながら集団活動も固定化しないように、かつ少しでも楽しいと思ってもらえるように工夫しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			宿題、テスト、受験対策など、子どもの状態や保護者のニーズを踏まえて設定しております

	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状態を考慮しながら個別及び集団の活動を組み合わせ、計画を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に職員間でミーティングを行い、情報の共有や役割分担を行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後にはその日の記録を残し、確かな情報共有を行っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後に毎日記録を記述しております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年に2回、モニタリング及び放課後等デイサービス計画の見直しを行っております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			活動については、基本活動だけでなく複数の支援を組み合わせしております。
保護者や関係機関との連携	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者と子どもの担当が参画しております。
	21	学校との情報共有、連絡調整等を適切に行っているか		○		保護者を通して連絡する等、検討していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			該当の利用者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて児童発達支援事業所と情報共有をしております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			該当の利用者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			年間4回の連絡会で研修しております。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		今後の課題として検討しておりますが、社会情勢を考慮して慎重に進めていこうと思っております。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎えに来られた際に当日の様子をお伝えしたり、2か月ごとに記録をお渡ししております。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ご相談に来られた際には、ご家庭で可能な学習法や子どもの気持ちに添った会話法などをお伝えしております。
保護	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に詳細をお伝えしております。

	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			主に臨床心理士の資格を有する管理者・児童発達支援責任者が対応しております。
	31	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	前年度については、感染予防もあり実施できませんでしたが、時期や形態等検討をしております。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情についての説明を契約時にさせて頂いており、問い合わせをすることによる不安等を軽減できるよう努めております。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			通信を作成し、掲示又は配布しております。
	34	個人情報に十分注意しているか	○			必ず他機関と情報を共有する際は事前に保護者からの同意を得ております。
	35	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもには状況に合わせてタブレット等を利用したり、保護者への電話は分かりやすい言葉で話すことや書面等で対応しております。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			それぞれマニュアルを作成し、職員は適時に研修し、保護者にも適時に対応についてお伝えしております。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害時マニュアルを作成し、避難訓練を年2回実施しております
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアル、大阪府の虐待防止研修資料を元に、研修をしております。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明を行っております。また、計画書にも記載をしております。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			初回面接での聞き取りや、アンケート用紙にて情報を得て対応を行っております。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			会議を行い、事例についての情報共有を行っております。